

令和5年度
介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月15日～11月22日

（公財）介護労働安定センター
福島支部



修了者へ贈ることは

6ヶ月にわたる介護労働講習の修了、誠におめでとうございます。福島支部職員一同、心よりお慶び申し上げます。新型コロナウイルスの第9波が懸念され、また季節外れのインフルエンザが流行する中のスタートでしたが、みなさん一人ひとりが高い意識をもって日々行動してくださったお陰で無事に講習を修了することができました。ありがとうございました。

長いと思っていた6ヶ月の講習も、振り返るとあっという間だったのではないのでしょうか。ここで学んだ知識と技術、そして講習と一緒に頑張った仲間との絆は、皆さんの宝物だと思います。初心を忘れず、これから介護分野で活躍されますことをセンター職員一同、祈念しております。

最後に、贈る言葉を3つ。

1つ目は『健康第一』、まず自分自身が健康であることが重要です。無理してストレスを溜めることなく、常に健康には留意してください。

2つ目は『笑顔であいさつ』、毎日のあいさつは良い関係を築くコミュニケーションの第一歩、率先して実施しましょう。

3つ目は『感謝の言葉』、“ありがとう”は魔法の言葉、ちょっとしたことでも感謝の言葉をもらおうと誰でも心がホッコリするものです。

皆さんの心の端に留めていただければ幸いです。

福島支部職員一同

講習風景

本講習では、介護職に必要な対人援助の基本的な視点と理念、介護の基本的な知識・技術から更には専門的な職業人に必要な実践力の修得とともに、介護福祉士受験資格要件の一つである実務者研修修了の資格を得ることができます。

講義

開講式





介護保険制度の体系や目的、利用者の尊厳の保持・自立支援、介護職としての役割や倫理などの基礎から学び、学んだ知識・技術を活用し、さまざまな状況に対応できる思考力・実践力を身につけます。
介護現場で必要な知識や技術について講義・演習を通して体系的に学習します。



医療的ケア



医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を学びます。

@FUKUSHIMA

生活支援技術Ⅱ



ボディメカニクスの基本原則、それを活用した介助方法などについて学びます。

就職支援



カリキュラムの中には、施設見学や就職面談会、修了生講話などの就職支援の時間もあります。介護職が実際に働いている現場を見学したり、働いている方からの講話を聞いて、修了後のスムーズな就職へ繋がります。経験豊富な職員が一人ひとりに合わせた支援を行います。



補足講習



就職に向けて介護技術について学習した内容等を復習し、技術の向上・定着を図ります。

レクリエーション技術



福祉におけるレクリエーションに特化し、実践に役立つ技術を学びます。

修了式



講習を終えて

今年も多くの受講者が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

介護に対しての考え方が変わりました。受講前より介護の仕事をした気持ちも増しました。個人的には、技術・知識よりも心構えややりがいを知ることができて良かったと思います。現場では、ギャップを感じることもあるかもしれませんが、この気持ちを忘れずにこれから仕事をしていきたいと思っています。

介護が必要な方がどのような状況なのかをみるための専門的知識を得られたと思います。様々な内容の講習を約半年間、濃い内容で行ってくれて、毎日充実しておりました。

現場実習では、施設見学で見えないところまで見学・体験でき貴重な時間でした。大変満足の半年間でした。この幸せを周りのみなさんに分けていきます。

勉強だけでなく、人としての在り方や「人」への思いやり・優しさ・気遣いを再認識することができました。一生の思い出になりました。

先生方の体験談も交えながら、座学や、基礎となる介護技術も分かりやすく丁寧に教えていただきました。学んだことを現場で活かせるよう日々研鑽し向上していきたいと思っています。

介護について様々な知識を広く学ぶことができて、毎日楽しく通うことができました。受講を通してできた仲間も宝物です。試験もありましたが、励まし合い、達成する喜びを分かち合うこともできました。出会った先生方からいただいた言葉を胸に、これから頑張っていきたいと思っています。

就職先を訪ねて



令和5年度修了者 近藤さん

介護労働講習で学んだことは？

受講前は、「介護」に対して漠然としたイメージでしたが、出来ないところをただ手伝えるのではなく、“自立支援”と“尊厳”が大切であること、そして、多くの介護技術の方法を学びました。

実際に介護の仕事に就かれた感想は？

「安定・安全」という言葉を、講習ではよく耳にしましたが、実際の目配りの重要性、命を預かっているという意味が分かりました。

講習内容などについての感想は？

介護技術を学ぶ際、受講者同士で練習をするため、ある程度の配慮がありますが、実際の現場だと利用者様の体重を痛感し、その方の身体状況から全介助になる場面もあります。講習では基礎を学び、現場で改めて学びなおすのだと感じました。

これから受講される方へメッセージをお願いします

介護現場の基礎がしっかり学べ、施設見学や講話、講師等を通じて、多くの施設と関わることができるので、現場の声をたくさん聴いてほしい。同期ってとっても良いものです。励まし合いながら頑張ってください。



事業主様から一言 小規模多機能型居宅介護事業所なじみの里

管理者 渡邊 健太 様

普段の仕事ぶりはいかがですか？

介護の仕事が未経験ということもあり、最初は利用者様とコミュニケーションをとるのも緊張している様子がありました。先輩職員と送迎や入浴を担当していき、徐々に慣れてきています。わからないことも、自分で確認するなど積極的な姿勢が見られます。

これから受講される方へメッセージをお願いします

介護労働講習で学ぶことは“基本”です。介護現場に入ると、基本の方法から“応用”の介助や工夫がたくさんあります。そのスキルを身に着けるためには“基本”をしっかり学び身に付け現場で実践することが成長に繋がります。

そのベースを介護労働講習の場で学んでいただければと思います。